

大正八年——大正九年

京都帝國大學文學部考古學研究報告

第三冊

內容
九州に於ける裝飾ある古墳
彌生式土器形式分類圖錄

京都帝國大學發行

京都帝國大學文學部
考古學研究報告 第三冊

九州に於ける裝飾ある古墳

濱田耕作
梅原末治
島田貞彦

〔附錄〕

彌生式土器形式分類圖錄

序 言

本報告書第一冊として吾人嚮に「肥後國に於ける裝飾ある古墳及横穴」を公にしたるが、當時吾人の調査に洩れたるもの、外、其後新に發見せられたるもの尠からず。乃ち本冊以下此等肥後に於ける殘餘と、肥後以外九州に於ける裝飾古墳を調査して、其の結果を漸次刊行せんと欲す。

本冊に收めたる裝飾古墳の調査は、主として大正七年一月之を行ひ、本年四月の再調に係るものなり。此間調査に従へるもの、余輩の外本教室助手島田貞彦、同敎務囑託梅原末治兩君にして、本年に至りて新に敎務囑託榊原政、臧君を加へたり。本報告は此等諸員の分擔執筆に係るも、亦た互に各部を補助せるは言を俟たず。其の*印を附したるは梅原君、*印を附したるは島田君の起草に成り、其の以外は余輩の稿する所なり。之を目次に示して、其の責任の歸する所を明にす。

余輩は此の調査に際して、茲に再び熊本縣の官民諸氏、殊に矢野寛、古賀德義、下林繁夫、平野乍、角田政治諸君の厚意と助力とに負ふ所多きを感謝す。特に古賀文學士は常に吾人を東道し、又本冊に掲載せる寫眞の多數を撮影惠與せられたるは、吾人の最も感謝に堪えざる所なり。又た筑後二軒茶屋の古墳に關しては、黒岩萬次郎君の報道に負ふ所あるを銘記す。

本冊に挿入せる圖版は吾人の手に成るもの、外、釜尾古墳の裝飾紋様の模寫の全部と、二軒茶屋古墳石室及石棺圖とは、池上年君の苦心經營に成るものにして、吾人の深く嗣君に感謝す。

る所なり。又た寫眞撮影及製版と木版とは桑名文星堂の盡力に俟つ所多く、原色寫眞版は東京辻本寫眞工藝社の製作に係り、遺憾なきに庶幾を得たるは吾人之を喜ぶ。卷末に彌生式土器形式分類圖録を添附せり。之に關しては、別に記す所あるを以て茲に之を述べず。

大正八年四月

京都帝國大學文學部考古學教室に於て

濱 田 耕 作

九州に於ける裝飾ある古墳

緒言.....一

第一章 肥後國飽託郡西里村釜尾の古墳.....二

第一節 古墳の外貌と石室の構造.....二

第二節 石室内の發見遺物.....五

第三節 石室内の裝飾.....六

第四節 裝飾紋様の特質.....九

第二章 肥後國天草郡維和村の古墳.....一四

第一節 古墳の構造.....一四

第二節 石棺の裝飾.....一六

*第三章 肥後國宇土郡花園村の古墳.....二二

第一節 古墳及石棺.....二二

第二節 石棺の裝飾.....二五

*第四章 肥後國上益城郡杉上村の古墳.....二八

*第五章 肥後國下益城郡今城の大塚.....三〇

第一節 古墳及石室の構造.....三〇

第二節 石室内の裝飾……………三二

*第六章 肥後國下益城郡松橋の古墳……………三四

第一節 古墳及石室……………三四

第二節 石室の裝飾模様……………三六

**第七章 肥後國宇土郡綠川村の古墳……………三八

第一節 古墳及石室……………三八

第二節 石室の彫刻……………三九

*第八章 肥後國八代郡吉野村の古墳……………四二

第一節 古墳の外貌と石棺……………四二

第二節 石棺の裝飾……………四三

*第九章 肥後國八代郡龍峯村の古墳……………四六

第一節 古墳の位置及外貌……………四六

第二節 裝飾ある石材……………四七

第十章 筑後國三井郡上津荒木村二軒茶屋の古墳……………四八

第一節 古墳の外貌及石室……………四八

第二節 石棺の構造……………四九

第三節 石棺の裝飾模様……………五二

結 論

五四

彌生式土器形式分類圖錄

卷末

九州に於ける裝飾ある古墳

圖版目次

口繪	釜尾村古墳石室障屏裝飾紋樣 (池上年君模寫)	本文對照頁
第一	同 古墳所在地遠望 (古賀德義君寫真)	二
	同 古墳全景 (同上)	二
第二	同 古墳所在地平面圖 (江口、濱田、梅原實測)	三
第三	同 古墳石室實測圖 (梅原)	三、四
第四	同 古墳石室內部障屏其一 (古賀德義君寫真)	四、七、八
	同 上其二 (同上)	四、七、八
第五	同 古墳石室內部障屏天井石 (同上)	五
	同 古墳石室內發見遺物 (同上)	四、八
第六	釜尾村古墳石室障屏裝飾紋樣其一 (池上年君模寫)	七、八、九
第七	同 上其二 (同上)	七、八、九
第八	同 上其三 (同上)	七、八、九
第九	同 上其四 (同上)	七、八、九
第十	天草維和村古墳石棺圖形彫刻石材 (古賀德義君寫真)	一七、一九
第十一	同 古墳石棺彫刻圖形拓本 (梅原)	一七、一九
第十二	杉上村古墳全景及紋樣彫刻石材 (梅原寫真)	二八

同上	今城村大塚古墳全景及石室入口 (古賀徳義君寫眞)	三〇
第十三	今城村大塚古墳平面圖及石室實測圖 (梅原)	三〇—三二
第十四	松橋町古墳所在地全景	三四
	同 古墳石室 (島田寫眞)	三四—三六
	綠川村古墳石室 (同上)	三八
第十五	松橋町古墳石室實測圖 (島田)	三四—三六
	綠川村古墳石室實測圖 (同上)	三八
第十六	吉野村古墳石棺彫刻 (古賀徳義君寫眞)	四四
第十七	同 古墳全景 (島田寫眞)	四二
	龍峯村古墳石室遺材 (下林繁夫君寫眞)	四七
第十八	吉野村古墳平面圖及石棺實測圖 (梅原)	四三
第十九	同 古墳石棺内部彫刻拓本 (同上)	四四
第二十	杉上村古墳石室實測圖 (同上)	二八
	龍峯村古墳石室遺材圖 (同上)	四七
第二十一	二軒茶屋古墳全景 (島田寫眞)	四八
	同 古墳石室及石棺 (古賀徳義君寫眞)	四八—五〇
第二十二	同 古墳石棺實測圖 (濱田、梅原)	四八—五〇
第二十三	同 古墳石室及石棺圖 (池上年君圖)	四八—五〇

第二十四 同 古墳石棺內部紋樣拓本其一 (梅原).....五二

第二十五 同 上其二 (同上).....五二

杉上村古墳石室障屏紋樣拓本(同上).....二八

龍峯村古墳石室遺材紋樣拓本 (同上).....四七

附錄圖版第一 彌生式土器形式分類圖其一

同 上第二 同 上其二

同 上第三 同 上其三

同 上第四 同 上其四

插圖目次

第一圖 九州裝飾古墳分布地圖.....卷首

第二圖 天草維和村古墳所在地遠望 (古賀君篤真).....一五

第三圖 同 古墳石棺復原圖 (梅原).....一六

第四圖 濟々疊第一石原狀想像圖 (平野君の圖に據る).....一七

第五圖 同 上第二石原狀想像圖 (同上).....一九

第六圖 丹波雲部村古墳發見劍圖 (濱田).....二一

第七圖	花園村晚免古墳石棺圖 (熊本縣廳所藏圖轉寫)	二二
第八圖	同 潤野古墳石棺圖 (同上)	二四
第九圖	今城村大塚古墳石函圖 (梅原)	三一
第十圖	同 古墳裝飾圖 (和田千吉模寫に據る)	三二
第十一圖	同 上 (古賀、梅原)	三二
第十二圖	松橋町古墳彫刻紋様圖 (島田)	三六
第十三圖	綠川村古墳彫刻圖形 (拓本に據る)	三九
第十四圖	同 上 (同上)	四〇
第十五圖	河内高井田横穴彫刻舟圖 (拓本に據る)	四一
第十六圖	吉野村古墳石棺圖 (考古學會雜誌第二卷第十二號より轉寫)	四四
第十七圖	山城久津川車塚古墳發見刀子圖 (梅原)	四五
第十八圖	二軒茶屋茶臼山古墳所在地平面圖 (島田、梅原實測)	四九
第十九圖	二軒茶屋茶臼山古墳石棺窓口想像復原 (模型に據る)	五一
第二十圖	同 古墳石棺内部彩色圖 (梅原)	五二

大正八年十月十日印刷
大正八年十月十五日發行

發行者 京都帝國大學

活版印刷人

中西勝太郎

京都市上京區下立賣通小川東入

玻璃版印刷人

桑名節

京都市上京區寺町通夷川下ル

賣捌所 丸善株式會社

東京、京都、大阪、福岡、仙臺

REPORT
UPON
ARCHÆOLOGICAL RESEARCH
IN THE
COLLEGE OF LITERATURE,
KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

Volume III.]

[1918-1919.

CONTENTS

Ornamented Tombs in the Island of Kiushû.....
By Prof. Dr. Kôsaku Hamada, Sueji Umehara & Sadahiko Shimada
Types of the Yayoishiki Pottery



PUBLISHED
BY
KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

1919